

Clinical predictors of intracranial injuries in infants with minor head trauma

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大淵, 英徳 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032184

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2980 号	氏 名	大 淵 英 徳
審 査 委 員 会	主 査 教 授	木 林 和 彦	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>軽度頭部外傷は来院時に神経学的異常と頭蓋骨骨折を示唆する所見がない状態であるが、頭蓋内損傷を伴う場合がある。乳児の軽度頭部外傷では頭蓋内損傷の予測は初期診療での重要な課題である。</p> <p>乳児軽度頭部外傷での頭蓋内損傷の予測因子を特定するため、外来受診した生後 11 か月までの乳児軽度頭部外傷 549 例を後方視的に検討した。15 例 (3%) に頭蓋内損傷として硬膜外血腫、外傷性くも膜下出血、硬膜下血腫または脳挫傷が認められた。頭蓋内損傷がある例とない例を比較したところ、転落の高さ、大きさが 3cm を超える頭皮下血腫、側頭部の頭皮下血腫は頭蓋内損傷の間に有意な関係が認められた。多変量解析では頭皮下血腫は頭蓋内損傷の危険因子であった。</p> <p>乳児軽度頭部外傷において転落の高さ、頭皮下血腫の大きさと部位は頭蓋内損傷の発生に関係することを見出しており、乳児頭部外傷の予防と CT 検査施行の指標ともなり得る価値ある研究成果である。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			